

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ：

①眞子さまと小室さんの結婚について

：婦人公論 アンケート調査から

②「自分の家庭が夫婦円満と思いますか？」

：女性誌 Domani アンケート調査から

③「再婚式 主役は子ども」：日本経済新聞 夕刊 2014, 5, 21 から



★ 参加者 : 8名 (女性4名、男性4名)

★ 参加者の感想

今回、「阿佐ヶ谷読書会」が阿佐ヶ谷という地からスタートし、30回目を迎えた。振り返ってみると、阿佐ヶ谷の地に集まり、「添い遂げるための工夫」を、世相を反映する雑誌からヒントを得て語り合うこと、阿佐ヶ谷という土地の豊かな面白さを味わいながら、お茶をすること、その「時間」がとても有意義な時間だったと思い出される。状況は一変したが、何とか「続ける工夫」でここまでたどり着いたように思う。スタートから、素敵なお店のリサーチに始まり、オンライン読書会の試み、読書会のマネージメントを担っている森友さんには感謝を述べたい。また、この「読書会」の美味なところは、立場を超えて個人を素直に表現できる「場」だということなのだが、それを可能にしているのは、何といても長谷川理事長の存在だと思う。素敵だ。そして、オンライン資料を変換し読みやすくしてくださる方、多忙でも時間をつくり参加する若い方、温かい雰囲気場で場を和ませてくださる方、そこに参加する人たちの「意欲」と「善意」がこの読書会を創っているのだろうと思う。



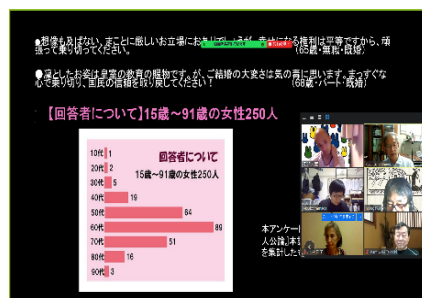
「読書会」という場が、「学ぶ場」だけでなく、個人のコアな部分の表出を可能にし、共有し、それが「学ぶ」ことに繋がっていく。これは、「好循環」であると思われる。今後も、「読書会」は形を変えてゆっくりと船旅を楽しむだろうが、私も船員として盛り上げることに尽力できればと思う。

さて、前振りが長くなってしまったので、本題に入ろうと思う。今回の読書会の学びは2点あった。①「儀式」としての「結婚式」「再婚式」の意味と②合同面接である。全て記

載するのは長い為、①について述べたい。「結婚式」というと華やかなイメージがある。祝福され、育ててくれた大事な人たちに感謝の意を伝える場だ。一方で、「送り出す側」と「巣立つ側」それぞれの「別れ」「区切り」「スタート」が詰まった1つの「儀式」とも捉えることができる。「儀式」として、特に「別れ」が重要な意味をもつように思われる。これは体験的なものもあるが読書会で学んできたことでもある。人は、「別れ」を「儀式」で体験体感することで、「区切り」をつけ新しいスタートに向かう（準備をする）のではないか。そのような意味で「結婚式」を考えてみると、決して盛大に「結婚式」を行う必要はなく、近親者のみで行うだけでも当事者たちには価値があるといえるだろう。

「再婚式」においては、少し意味合いが変わってくる。再婚する際に、子どもがいる場合にはステップファミリーといわれる。「再婚式 主役は子ども」（日本経済新聞 夕刊 2014,5,21より）を読んだ際には、当事者として個人的な感情が蘇った。もし、自分が「再婚式」に参加する機会に直面していたなら、どうしていただろうと。記事の最後にある参加した子どもの立場からのコメント同様、「複雑」「葛藤」でグルグルしていたように思う。ただ、再婚にあたっての「誓いの言葉」にあるように、子どもを含めた家族を大事にしていくという誓いは、己であったなら強く響いただろうと感じた。

「離婚」を経験する子どもは、少なからず、「親」を心配する。自分が新しい家族に受け入れられること、新しい家族を受け入れること、新しい親を受け入れることには時間を要する。そのような意味で「再婚式」を夫婦の新たな出発、子どもを含めた新しい家族の形成、家族の自覚を促進する「儀式」として行うことは、家族、周囲にとって非常に意味があると考えられる。再婚は「葛藤」を家族にもたらす。しかし、新たな出発をともに生きようとする家族で「けじめ」を形で表すことが「儀式=再婚式」ならば、「その時」は複雑であっても、長い時の中で時間をかけて「家族」になっていった未来には、「あの時」があつて良かったと思えるようになるだろうと、個人として、「家族」を学び続ける者として考えることができた。



最後に、今回の読書会で得たヒントとおまけを。「婚前幸せ Lesson=結婚前の心理教育」だけでなく、「儀式」としてコンパクトな「結婚式」も同時に提案できるのではないかと。理事長の眼鏡は、PCの画面上で反射しなくなったという。その仕掛けにはとても心躍ったが、ド近眼の自分には参考にはならなかった・・・。(笑) ありがとうございました。

(家族相談士 熊谷知美)

<オンライン読書会はいかがでしょう？>



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶🍵は、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのセミナーもまた必見！
夫婦生活につまづいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知恵も拝借しながら、おんなどおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合いましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

★次回は第31回 10月23日(土) 17:00 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。

会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！

<会員限定>

オンライン読書会（ZOOM）に参加ご希望の方は➡の
QRコードに（森友ラインあて）、お手持ちのスマホで
カメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。
しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。
何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願ひ申し上げます。